

なかま



プリンストン日本語学校

平成27年度 No.14

平成27年 8月23日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org

夏休み明けの学校は・・・

その1：出会い



新しく仲間が加わった教室では、それぞれに自己紹介。誰もが子どもらしく照れくさそうな挨拶ですが、それはそれで何とも温かく微笑ましいものでありました。紹介する方もされる方も、思わず皆ニコニコと笑顔になった出会いとなり、一様に良いスタートが切れたようです。本校の「学校生活全般の約束」の中の、『転入生に対し温かい支援・配慮をしましょう。』という事項は、しっかりと根付いてくれているようです。各クラスでも、新しい仲間への積極的な支援が随所に見ることができました。転入・編入生はもちろんのことですが、第2ステージの始まりに、今一度学校生活の決まり（学校要覧P19）をみんなで再確認し、気持ちの良い学校生活ができるよう力を合わせて行きましょう。

その2：宿題

先週の授業では、夏休みの宿題や自由課題を子どもたちが発表している姿が多くみられました。国旗について調べたものあり、夏休み中の経験を語り合うところあり、一時帰国した時の体験を地図や写真を使って上手にまとめた発表あり。また、授業で学んだことを基にした作品もありました。

右の写真もその一つ。6月の授業研究（プリンストンコース：スチュワード先生）の際に学んだ教材を基に取り組んだ作品のようですね。それぞれの発表の様子を見ていると、とても充実した夏休みを過ごせたようで、うれしくなります。保護者の皆様、子どもたちへの素敵な夏のプレゼント、子どもたちになり替わりましてお礼申し上げます。ありがとうございました。



その3：漢字検定

『日本語を学び始めて最初に「えっ？」と思った漢字は「銅」でした。『金』に『同じ』と書いて『銅』。いや、金と銅は同じじゃないでしょ～！』と心の中でツッコんだときが、お笑いのネタづくりの始まりでした。・・・漢検のHPにアメリカ人お笑い芸人、厚切りジェイソンさんの漢字にまつわる話が掲載されています。さて、夏休み前に実施された漢字検定の結果が配付されました。合格率100%とはいきませんが、結果のいかんにかかわらず、挑戦した皆さんには拍手を送らせていただきます。何事も、やらない理由は探さなくても見つかりますし気分決められるものですが、何かをなそうと挑戦するときには、明確な意思が求められます。小さな一歩かもしれないませんが、確実に前に進んだのだと思います。合格した生徒の中には、級友から賞賛と祝福を頂戴した生徒もいたようですが、そのことが、漢字学習に対する級友たちへの刺激となったことが何より好ましいことですね。漢字は苦手という声も聞こえてきますが、前述のジェイソンさんのように、素朴な疑問を持つところから入口が見つかるかもしれません。次回の漢検は2月7日の予定です。

今後の予定

- 8月16日 夏休み明け授業再開
- 8月23日 総務オフィサーミーティング
創立35周年記念Tシャツ申込締切
- 8月30日 総務オフィス連絡会議 15:00～
- 9月5日 **土曜授業日**（選択算数・数学なし）
JASL/Adult コース開始
JASLオリエンテーション
第3回冷泉彰彦氏講演会
クラス委員全体ミーティング（14:45～）
授業研究（中学部3年）
- 9月13日・20日 運動会リハーサル①②

お知らせ

日本国内の各校種の学校案内が届いています。

8月中は、閲覧のみとして、みんなで情報教烏有させていただきます。9月以降は、ご入用の方が自由にお持ちください。

ご協力、よろしくお願ひいたします。

